



## 月刊アシスト

### 十月の生徒目標

- 1、受験生、偏差値5アップ
- 2、一・二年生定期テスト50点アップ

### 受験生、秋の学習

十月は受験生にとって最初の入試まで三ヶ月を切ったあたりになります。学校では定期試験を迎え、自分の進路を決めるポイントになる出来事が続きます。ゴールを見据えた学習をしていきたいところです。



定期試験の延長上に受験勉強があるという意識をもちましょう。夏休みの暗記や九月に入って学習した内容から、定期試験の問題は出題されるはず。試験対策の学習の

中には学校のワークや授業で配られたプリントで、よく見る問題が必ずあるはず。その問題を「どこで見た」「いつ解いた」を常に気にするようにしてください。その部分が定期テストの得点力、ひいては実力テストや入試の得点力につながっていきます。

### 得点を上げるイメージ

二学期にもなると、自分の学校のテストでワークからよく出る科目が何かがわかってきています。とくにその教科のワークは2回、3回と繰り返し解いていくようにしましょう。



そしてテストの結果と対策をきちんと反省して、次の期末は「いつから始めれば2回(3回)できるかな」と考えてみてください。そういった工夫すれば得点が上がること。このイメージを自分の中で作ってほしいと思います。



### ＊ワークを2回・3回と解く＊

「ワークを2回・3回と解きなさい。」とはよく言われますね。今後の学習にもつながるので今一度触れておきましょう。

1回目 わかる、わからないの仕分けをして場合によっては解答を写す。とにかく埋めて提出に備える。

2回目 1回目でもわからなかった場所の暗記、解き直し、ここは質問しようという場所を解決していく

3回目 テスト直前に解答欄を隠しながらもう一度解き、できるかどうか確認する。

ただワークをこなすのではなく、意図を明らかにしながら学習を進めることが、効率のよい学習方法といえるでしょう。

### ハロウィン

十月三十一日はハロウィンです。本来は秋の収穫を祝い、悪霊を追い出す儀式ですが、日本ではほぼお祭りとして定着してきています。「トリック・オア・トリート(お菓子をくれないといたずらしちゃうぞ)」という合言葉でお菓子がもらえるお祭りといえはわかりやすいでしょう。



アシストでは十月の末に「ハロウィンパーティー」を開きます。毎年楽しみにしている人もおられるかもしれません。もちろんたくさんの方の参加が盛り上がりです。小学生の皆さんはお友達も誘って参加してください。

### 「神無月(かみづき)」

十月の別名を「神無月(かみづき)」といいます。日本の神様が出雲(いずも)に集まってしまうからなんです。そしてその出雲というのは島根県。ここでは十月を「神在月(かみありづき)」といいます。まあ実際には旧暦の話なのであと一ヶ月くらいはあるのですけどね。



### 相談コーナー

教室担当者に相談しにくいことや、塾全体へのご意見・要望は本部へお電話下さい。なお、生徒さんの学習相談、欠席連絡、科目変更、各種費用等のお問い合わせは、お通いの教室にお願いします。新・個別指導アシスト

青山英語学院 盛田まで  
047(712)2300  
平日 午前10時～午後7時